

## プログラムの概要

<b>団体名称</b>	代表団体:(特活)開発教育協会 協力団体: -
<b>実施規模</b>	□地域限定のプログラム:1,000万円未満/3年以内に完了するもの ■全国展開のプログラム:1,500万円未満/3年以内に完了するもの
<b>実施期間</b>	2017年1月～2019年12月(3年間)
<b>実施場所</b>	東京、東北、新潟 他…
<b>タイトル</b>	SDGs 達成に向けた開発教育実践者の育成
<b>目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の NGO や開発教育推進団体が、各地域において継続的に開発教育の研修会や人材育成を行えるように組織強化を行う。</li> <li>● 具体的には各団体が、地域の課題を分析し、持続可能な開発目標(SDGs)をテーマにした開発教育ツールや教材を作成したり、開発教育の実践者を育成する研修会を企画できるようにする。</li> <li>● 地域における開発教育のネットワークを強化し、地域の SDGs の貢献につなげる。</li> </ul>
<b>概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 全国各地にある開発教育を推進する国際協力 NGO や、地域の NPO に対して、SDGs をテーマにした開発教育研修を実施する。</li> <li>● 事前に団体には聞き取り調査を行い、課題を整理して団体自身が持続可能な社会について学ぶ開発教育のツールの開発や、開発教育実践者育成のための研修を実施できるように支援する。</li> <li>● 3年間で、関東地域も含めた3地域において各団体が継続的に質の高い開発教育を実施し、地域の SDGs の達成にも貢献することをめざす。</li> </ul>
<b>受講対象者及び定員</b>	東北地域、新潟、関東地域の国際協力 NGO スタッフ、ボランティア、開発教育推進団体メンバー、教員など 【定員】各回5団体30名
<b>到達目標</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域で活動する国際協力 NGO や開発教育推進団体が、自らの地域の課題を分析し、世界の課題と結び付けて、解決方法を考えるための開発教育ツールを開発し、それらをつかって、継続的に開発教育の研修や人材育成研修を行えるように組織強化を行う。</li> <li>● 上記の目標を達成するためには、まず、1年次に地域の各団体の現状を知り、それぞれの団体のニーズを聞く必要がある。また、開発教育ツールの作成には、多くの方の参加や協体制づくり、企画づくり、実施、評価、再試行等のプロセスを踏むことが重要である。2年次の研修で、その部分を紹介し、実際の作成に約1年かけてもらい、そこで随時コンサルテーションを行う。そして、3年次にそれらの教材を持ち寄った研修を地域主体で行う。</li> <li>● 上記のように、1年次は詳細な調査を実施し最適な計画案を行う。2年次には各地域にて研修を実施。3年次では各地域で現地 NGO 等により実施される研修を支援する。また、本件実施期間を通じて地域間のネットワークを強化するとともに地域内における SDGs および開発教育の必要性について理解促進が図られ、開発教育を実践できる人材が育成される。</li> <li>● 特に、地域間のネットワークを強化、継続するために、ニーズ調査から3年次の主体的な研修までのプロセスにおいて、地域の団体間での協働が進む機会を積極的に提供し、支援していく。</li> </ul>
<b>到達目標を測る指標</b>	<p>&lt;数値目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発教育実践スキル習得者各30名</li> <li>・開発教育ツール作成へ参加する団体(利用団体含む)各地域5団体以上</li> <li>・研修参加者の実行計画作成率80%(各回24名目途)</li> </ul> <p>&lt;その他の指標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体の作成した開発教育ツールやプログラム(テーマや内容、手法について)</li> <li>・開発教育ツール(参加者数・協力者数・会議の進め方・ネットワークの構築)</li> <li>・参加団体の変化(開発教育に関する理解・教材開発のプロセス理解)</li> <li>・地域のネットワーク構築</li> <li>・団体の組織強化</li> </ul>